



岡崎市立愛宕小学校 校長通信 令和5年6月6日（火）

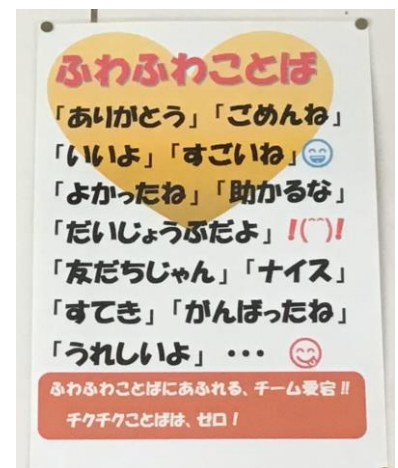


大好きいっぱい チーム愛宕



6月5日（月）、月曜朝会がありました。委員会からは、環境委員会と図書委員会から連絡がありました。図書委員会からは、「かたつむり読書週間」についての話です。23日（金）まで、各学年で目標をもって取り組んでいまいしょうとの話でした。ちなみに、低学年は30冊、中学年は300ページ、高学年は500ページが目標です。読書は心の栄養になります。続いて、環境委員会からは、緑の羽根募金の協力に対するお礼がありました。たくさんのご協力をありがとうございました。

校長の話では以下のことを伝えました。「①金曜日は、大雨でとてもたいへんな一日でした。こういう時に大切なのは、落ち着いて冷静に行動すること。命を守るためには大切なことです。これから梅雨や台風の時期になり、こうしたことが起きるかもしれません。安全に身を守れるようにしましょう。②（ゲーム、YouTube、Tik Tokの現状を挙手で把握した後）多くの人がゲームをしていますね。最近、校長先生が気になるのは、そのゲームの中で使われている言葉です。ひどい言葉やチクチク言葉です。これはゲームの世界の中だけです。この嫌な言葉が、こうして人がいる中で使われてはいないか心配です。これ、みんなも知ってるよね。（ふわふわ言葉を提示）チクチク言葉はこの学校からゼロに。みんなが気持ちよく仲良くチーム愛宕になるように。③最後に一つ、1か月前にこんなことがありました。坂道を自転車で下る小学生が、車とぶつかり顔を12針も縫う大けがをしました。一つ間違えると命が…。みなさん、ヘルメットをしっかりとかぶっていますか？愛宕学区は坂道が多いので、校長先生は心配になりました。交通ルールを守って自転車に乗りましょう。」



この月曜朝会のように、全児童と全教職員が一同に会する機会を大切にしたいと考えています。子供たちや教職員に、私が伝えたいことを直接伝えることができます。その話を聞いている姿や反応を見て、私自身も考えます。校長の話の後に、学級に戻って各担任の言葉で子供たちに伝え、導いていきます。よりよい学校づくりに向けて、日々挑戦です。ところで、児童の実態としては、ゲームをしているかどうか聞くと、ほとんどの児童が挙手しました。やはり、ゲームは欠かせないのでしょうか…。やり方やルールを守ることが大切です。情報モラルの授業等で学ぶ機会を設けていきます。また、Tik Tokは少なく、ほんの一部でした。自転車に乗る児童も少なく、やはり坂道が多い学区だからでしょうか。

人との関わり方について、早い段階でより良い方法を身に付けさせたいと思います。学校という一つの社会の中で、成長を促していきます。特に、最近のゲームやSNS等で配信される動画を見ていますと、チクチク言葉を目にします。子供たちはこれを見て、ゲームだけの世界だと分けて使うことができるか、現実の世界においてもチクチク言葉を使ったり、相手を言葉で傷つけたりしていないだろうか。学校では「ふわふわ言葉」を使うよう声をかけ、児童の目につくよう掲示物で啓発しています。1学期は「ありがとう」の言葉を増やすことが目標です。学校・家庭・地域が同じ歩調で、地域の宝である子供たちを育てていきたいと思っています。